

12月2日、帯広市図書館は百周年を迎えます。私が初めて市の図書館を利用したのは高校3年生の夏休み、わずかな物音を立てるのも気が引けるほど静寂な時間が流れていたことを覚えています。そして、その中で友人とひそひそ話をする楽しさもありました。

これまでの人生で最も図書館を利用したのは大学生の時です。貧乏学生の常で、冬場は下宿の部屋が寒く、図書館に避難したというのが実情ですが、法学部の教室と通路でつながっていた大学の図書館は自習の場所として最適でした。当時は司法試験を受けるなら六法ぐらい暗記しろといわれていた時代で、私も小難しい顔をしながら法律書を読むことにひたすら時間を費やしていました。ある冬の朝、地下鉄駅から図書館に向かう道でゼミの先生とお会いした時に次のような言葉を掛けられました。

「法律の条文をいちいち覚えるより、物事を深く考えることが重要で、そのためには社会や生活の仕組み、何より人間そのものをよく知らなければいけない。そしていつも最低三回はなぜ？」と自問するくせをつけなさい」この言葉をきっかけに自分で考える時間を大切にするようになり、図書館も思索や気付きを得るために利用することが増え、読書のジャンルは歴史や哲学、文学へと広がりました。

市長に就任した頃、「未来をつくる図書館」という素敵なタイトルの本を読んだことがあります。この本で紹介されている「ニューヨーク公共図書館」は、夢をかなえたい、人生を変えたいと思うニューヨーク市民が最初に行く場所といわれているそうです。例えば、ブロードウェイのスターを目指している人なら、歌や踊りの教本はもちろん、先輩の成功談や過去の舞台映像まで、知りたいことの周辺情報が充実している。そんな住民の多彩な活動をサポートする場として地域で親しまれていることを知り、改めて図書館の役割や機能について考えさせられました。

インターネットの時代では、知りたい情報は、図書館に行くことなく得られるかもしれません。しかしながら、いつの時代においても「知りたい」という知的好奇心は、さまざまなアイデアや人とのつながりを生み出し、社会の発展の源となります。

一世紀もの間、このまちとともに成長してきた図書館。これまでの機能に加え、知りたいことを通じて人と人とのつながる、そして明るい十勝・帯広の未来につながる場になってほしいですね。

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

図書館1世紀

帯広市長 米沢 則寿



「法律の条文をいちいち覚えるより、物事を深く考えることが重要で、そのためには社会や生活の仕組み、何より人間そのものをよく知らなければいけない。そしていつも最低三回はなぜ？」と自問するくせをつけなさい」この言葉をきっかけに自分で考える時間を大切にするようになり、図書館も思索や気付きを得るために利用することが増え、読書のジャンルは歴史や哲学、文学へと広がりました。

帯広市広報マスコットキャラクター選挙を開催！

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

帯広市公式ホームページは、令和3年1月下旬に大幅なリニューアルを行う予定です。新しいホームページでは、すべてのページがスマートフォンやタブレット端末などでも見やすくなります。また、必要な情報にたどり着きやすい検索機能や、チャットボットによる自動応答機能などを新たに追加します。詳細は「広報おびひろ2月号」でお知らせします。

リニューアルに伴い、ホームページや広報紙で、情報発信を手伝ってくれる「広報マスコットキャラクター」を皆さんの投票により決定します。下記の三つのキャラクターの中から、お気に入りのキャラクターに投票してください！

君は、誰を選ぶ!?



投票期間 10月20日(火)～11月13日(金)

投票方法

- 1.LINE投票：市公式LINEと友達になると投票フォームが送信されます（既に登録している人には10月20日に投票フォームを送信予定）
- 2.シール投票：図書館、児童会館に設置したボードにシールを貼る
- 3.ファクス投票：紙（様式問わず）に好きなキャラクターの名前を書いてFAX23・0156に送信
- 4.WEB投票：下記右側の二次元バーコードから投票ページにアクセス

1.市公式LINE
アカウント▶



4.WEB投票用
投票ページ▶



選挙の結果は、広報おびひろ2月号で発表します！



帯広市では職員が皆さんのところへお伺いし、生活に役立つ情報などをお話する「ふれあい市政講座」を実施しています。この日は、アイヌの衣装をまとった生涯学習文化課の職員が「アイヌ文化」について紹介し、高齢者自主学习グループ「稲田わかば会」の30人の参加者が、真剣なまなざしで当時の人々の暮らしや交易などについて学んでいました。

講座は、防災や交通安全、健康などさまざまな分野で用意していますので、地域集会やグループで気軽に利用してください。（9月25日、南コミュニティセンター）



児童会館で毎月開催している「親子おもしろ教室」に、9組20人の親子が参加しました。この日は「小さな世界の写真を撮ろう」をテーマに、電子顕微鏡や光学顕微鏡を使って、エゾフクロウの羽やオニユリの花粉などを観察し、それらを写真に撮ってパネルを作りました。

「顕微鏡を使うと、鳥の羽もいつもと違う模様が見えてびっくりした」「パネルを作るのが楽しかった」など、子どもたちは顕微鏡で見る小さな世界に驚いている様子でした。（9月26日、児童会館）



市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV11ch)
毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日)
おびひろタウンインフォメーション
(FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20
おびひろ広報メモ
(FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎ 65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihoro.hokkaido.jp）